

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月14日

事業所名 児童発達支援事業所ベリ-

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		・午後の活動はグループ分けをし、2部屋のスペースを利用しています。 ・曜日によって異なるが時にとても圧迫感がある。	グループ分けをしたり園庭を利用しながら適切な空間になるよう心掛けています。
	2	○		・利用人数に応じた配置だけでなく、状況に応じて(不安定になるなど)適切にされています。 ・曜日、年齢によって足りないと感じることは減ってきました。	常に利用者数と職員数を確認しながら対応するようにしています。
	3	○		・活動内容によって部屋分けをしています。 ・生活動線が簡潔になるよう余計な掲示物や物を置かないようにしています。安全面を考慮し、適宜施設可能にしています。	職員皆様のご協力により環境整備を常に意識できています。
	4	○		・毎日清掃、室内換気、玩具のアルコール消毒など清潔に努めています。 ・清掃・消毒のし忘れがないようチェック表を使って管理しています。	職員皆様のご協力で日々の消毒などの徹底ができています。
業務改善	5	○		・支援前後に毎日ミーティングをしています。月1回全体ミーティングをしています。	
	6	○			
	7	○		・その都度、開示できる範囲で紙面、ホームページ等に公開しています。	
	8				
	9	○		・職員の希望する講習会等に積極的に参加させてもらっています。職員研修が多くありがたいです。ミーティング等で職員間のコミュニケーション、勉強会などとても学びに繋がっています。	職員皆様の前向きな向上心で研修・勉強会は日々出ています。
10	○		・誕生月とその半年後の年2回、評価を行い、支援計画を作成しています。		

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	・太田ステージを用いています。定期的に太田ステージ評価しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○	・支援計画作成の際、保護者からの意見・希望も聞き取った上で、職員3名以上で検討しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	・支援計画を日誌と一緒に管理し、決まった所で各職員がいつでも確認できるようにしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	・リーダーが立案し、その日の児童の近況を複数名の職員で確認し、決定しています。朝のミーティングで周知しています。	季節ごとの行事を織り交ぜながら充実した内容になっています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	・主活動をそれぞれの職員が1つ受け持ち、固定化を防いでいます。 ・色々な活動を日替わりで行っています。	各職員が勉強し活動に活かしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	・特に年長児には就学やその先の学校生活を見据えた活動として、グループワークまたは自立活動を計画・実施しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	・毎朝ミーティングをして活動内容、注意点を確認・共有しています。 ・特に職員間での引き継ぎが必要な事項も全体で確認しています。	必ず朝のミーティングや日々の打ち合わせを実施し情報共有ができています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	・支援後のミーティングで情報共有しています。 ・その日不在の職員も共有できるようにミーティングボードでも報告を残しています。	支援終了後の打ち合わせとミーティングボード記入することで不在の職員にも情報共有ができています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	・日誌として各児童の記録を取り、特記事項を支援終了後に検討しています。	特記事項の内容もミーティングボードに記載し職員間で日々意見交換を心掛けています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	・現状の見直し、評価をし、各児童の発達に沿った支援計画を継続・変更を検討しています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	・相談員、児発管だけでなく、状況に応じて保育士や児童指導員も参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	・定期的な連絡以外にも、必要に応じて連絡や来所していただき連携を密に取っています。	外部の機関との情報共有を心掛け連携を取って支援に活かしています。

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・園と保護者からの理解、協力を得て、保育所等訪問支援を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・就学先の校長や支援学級担任が来所し、当該児童の様子を見ていただき引継ぎ事項を共有しています。	積極的に情報共有を心掛けています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・事業所内の放デイで参加している連携・研修プログラムへ職員の希望に応じて参加させてもらっています。	研修プログラムの情報を積極的に収集し、参加に繋げるようにしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・秋祭りを母子または父子に限定せず、家族で参加可能にした事で、幅広い年齢の交流ができています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や受け入れ・お迎え時に児童の様子を伝えあい、保護者との連携を図っています。	保護者様が気軽に相談できるように体制を整えています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・保護者勉強会の感想を見ると、たくさん学びがあって利用児童の成長をサポートする為にとっても有意義と感じます。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的な、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	・相談支援という時間をすぐに設けたり、対応も早く相談しやすい、話しやすい雰囲気ができていると思います。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	・毎年実施しているリズム参観に加え、家族で参加できる秋祭り、保護者の交流を兼ねた勉強会を開催しています。	毎年好評です。引き続き計画していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	・保護者から相談がある場合、すぐに話し合いをする機会を作り保護者の心配事や不安を解消できていると思います。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	・毎月1度、活動内容や季節に応じた活動をお便りを発行してお知らせしています。見るのを楽しみにしています。 ・行事予定を玄関ドアに貼り、いつでも確認できるようにしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	・個人情報が載っている物に関してはシュレッダーをかけています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	・カードで視覚支援をしたり、ジェスチャーをしたりしてそれぞれに合った支援をしています。	職員全員が同じ支援が出来るようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・招待する機会を設けてはいないが、歩行訓練の時に子供達と元気よく挨拶を交わしています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	・特に感染症対応マニュアルは流行する時期や対応キットを使用した際、再確認を兼ねて職員への周知をしています。 ・おう吐対応マニュアルをミーティングで確認しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・月に1度、災害時を想定した訓練の他、年長児には不審者対応についての時間も設けています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	・ご利用開始前の段階でアレルギーの有無、種類を把握し、職員にも周知しています。 ・現在対象児童なし。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・月1回のミーティングで対応策を共有しています。 ・危険を未然に防げた場合でも、他の子の場合、怪我等が発生しそうな事例も報告・共有しています。	毎月職員間で情報を共有しています。

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。